

花をみる 鳥を描く 大矢峻嶺 展

(1) 趣 旨

美濃加茂市伊深町に生まれた大矢峻嶺は、19才で画家を志して京都へ赴き、竹内栖鳳のもとで日本画を学びました。大正から昭和にかけて京都画壇で活躍した峻嶺、精緻な写生を基とする穏やかな画風はこの地域の人々に今も愛され続けています。京都に遺された作品、美濃加茂市を中心とする岐阜県内にのこの峻嶺の作品を展覧し、その画業の足跡をたどりました。



(2) 会 期 2007(平成 19)年 2 月 3 日(土)

～3 月 18 日(日)<37 日間>

(3) 観覧料 一般 300 円(150 円)、高校生以下無料

()は 20 名以上の団体料金及び、かるちすとくらぶ料金

(4) 会 場 企画展示室／美術工芸展示室

(5) 関連事業

①ミュージアムフォーラム 大矢峻嶺氏の事ー京都の日本画ー

大矢峻嶺の作品、京都と東京の日本画の差異についてお話いただきました。

《2007(平成 19)年 2 月 10 日(土)14:00～15:30／会場：緑のホール／参加料：無料

講師：榊原吉郎氏(京都市立芸術大学名誉教授)／共催：美濃加茂市美術連盟》

②関連講座 岩彩でぬり絵

日本画の顔料である岩絵具や膠を使ってぬり絵をしました。色紙を一枚仕上げました。

《2007(平成 19)年 2 月 18 日(日)10:00～16:00／会場：陶芸室／参加料：1000 円／講師：ナカシマヒロエ(日本画家)》

③ミュージアムトーク 作品鑑賞会

当館学芸員が展示室を案内しました。

《2007(平成 19)年 2 月 4 日(日)、3 月 10 日(土)①11:00～12:00 ②14:00～15:00／会場：企画展示室・美術工芸展示室／参加料：企画展観覧料》

(6) 図 録

花をみる 鳥を描く 大矢峻嶺 展 A4 判 44 頁 800 円

